

令和4（2022）年度事業報告書

I 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 法人概要

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

この法人は、持続性可能な社会、すなわち脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現するため、市民・事業者・行政・教育機関と連携を強め、広く環境保全活動を推進することにより、環境に配慮した市民の自主的な行動による地域社会づくりに寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

2001年2月14日

イ 基本財産

金 52,363,000 円

ウ 実施事業

- (ア) 環境意識の普及、啓発に関する事業
- (イ) 環境情報の発信事業
- (ウ) 環境保全に関する調査、研究に関する事業
- (エ) 環境教育及び人材育成に関する事業
- (オ) 環境保全のための市民、事業者等との連携、支援に関する事業
- (カ) 環境意識の向上のための国際的な連携、支援に関する事業
- (キ) 環境保全活動に関する施設の管理運営
- (ク) その他、この法人の公益目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況（2023年3月31日現在）

(1) 役員等の数

理事長 1 人 専務理事 1 人 理事 9 人 監事 2 人 評議員 9 人

(2) 役員等名簿

ア 役員名簿

（敬称略・理事は 50 音順）

役職	氏名	備考
理事長	新川 達郎	同志社大学名誉教授
専務理事	辻 智之	公益財団法人国立京都国際会館総合戦略広報監
理事	杵本 育生	特定非営利活動法人環境市民代表理事
〃	田浦 健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク事務局長
〃	高野 拓樹	京都光華女子大学学長特別補佐 教授
〃	永田 綾	京都市環境政策局地球温暖化対策エネルギー政策部長

理事	中田富士男	京都市ごみ減量推進会議会長
〃	橋本直子	株式会社 Hibana 代表取締役
〃	花田真理子	大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授
〃	原 強	京都循環経済研究所所長
〃	久山喜久雄	フィールドソサイエティ代表
監事	野村 克章	税理士
〃	水口 重忠	元京都市伏見区長

イ 評議員名簿

(敬称略・50音順)

役職	氏名	備考
評議員	市川 智史	滋賀大学環境総合研究センター長
〃	上羽 尊浩	公益社団法人京都青年会議所副理事長
〃	周 瑋生	立命館大学政策科学部教授
〃	田中 克	京都大学名誉教授
〃	永橋 爲介	立命館大学産業社会学部教授
〃	西本 清一	公益財団法人京都高度技術研究所理事長
〃	南山 泰宏	京都教育大学環境教育実践センター教授
〃	村上 圭子	公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー専務理事
〃	森田 淳	株式会社京都銀行公務・地域連携部観光地域活性化室長

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

	開催日	審議事項	結果
第45回	2022年 5月23日	議第1号 令和3年(2021年)度事業報告書(案) 議第2号 令和3年度決算報告書(案) 議第3号 「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」(案)	承認 承認 承認
第46回	2022年 6月21日	議第1号 理事長の選定について 議第2号 専務理事の選定について 議第3号 基本構想推進委員会設置規則の制定について 議第4号 会員組織設置要綱の制定について	承認 承認 承認 承認
第47回	2022年 8月10日	<書面決議> 議第1号 理事の利益相反取引に係る承認の件	承認

第48回	2022年 12月26日	議第1号 令和4年度補正予算書(案) 報告事項 協会の財政状況について	承認
第49回	2023年 3月22日	報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について 報第1号 令和4年度(4月～12月)事業報告 報第2号 令和4年度決算見込み 議第1号 令和5年度事業計画書(案) 議第2号 令和5年度予算書(案)	承認 承認

(2) 評議員会

	開催日	審議事項	結果
第15回	2022年 6月15日	議第1号 令和3年度決算報告書(案) 議第2号 定款の変更について(案) 議第3号 評議員の選任について(案) 議第4号 理事の選任について(案) 議第5号 監事の選任について(案) 報告事項 令和3(2021)年度事業報告書	承認 承認 承認 承認 承認

4 職員数 (2023年3月31日現在)

(単位：人)

理事 専務 事務局長	専務 理事	事務局 局長	総務室			環境教育推進室					地域環境活動促進室					企画広報室			合計
			室長	室長補佐	事務職員	室長	室長補佐	事業職員	研修職員	臨時職員	次長	課長	室長補佐	事業職員	臨時職員	室長	事業職員	特定職員	
1	1	1	1	1	1	1	3	7	2	1	1	1	2	4	2	1	2	1	35

※地域環境活動促進室室長は次長の事務取扱としている。

II 2022 年度実施事業内容（主な実績）

（詳細を 6 ページ以降に記す。）

I 公益目的事業

脱炭素社会推進事業・循環型社会推進事業・自然共生社会推進事業

【1】環境保全活動拠点事業

1 京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）指定管理業務

1111 環境の保全に関する活動のための施設の提供

1121 環境の保全に関する資料及び装置の展示

1131 環境の保全に関する情報の収集及び提供

1142 環境副読本発行

1144 ホームページ等による情報発信

1145 各種講座や講演会の企画と実施

1146 環境保全促進のための研究、調査等

1147 環境ボランティアの育成

1148 環境保全活動に関わる人材の育成

1149 海外との交流

1150 大学生の環境活動支援

1151 アウトリーチ（館外での実施）

2 さすてな京都（南部クリーンセンター環境学習施設）運営業務

2101 さすてな京都運営業務

【2】国際事業

1201 J I C A 課題別研修（脱炭素で持続可能な都市・地域開発のための自治体能力強化）

1202 J I C A 草の根事業「ASEAN のモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」

1203 J I C A 日系研修受け入れ業務

1206 J I C A 技術協力プロジェクト「インド国ヴァラナ市衛生改善プロジェクト」支援業務

1205 その他国際事業（調査、案件形成等）

【3】地域環境活動支援事業

1301 「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援事業

1303 2050 年 CO₂ 排出量正味ゼロに向けたみちづくり支援事業

1304 企業等連携プロジェクトの創出及び実証支援事業

1305 市民ワークショップ等の開催

- 1306 市民ライター育成事業
- 1307 住宅の再エネ地産地消・地域循環推進事業
- 1308 環境に配慮した MICE 調査
- 1309 脱炭素の見える化
- 1503 住宅向け0円ソーラー
- 1504 太陽光発電プラットフォーム事業
- 1621 ごみ減量推進事業 普及啓発
- 1622 ごみ減量推進事業 ごみ減量事業化
- 1623 ごみ減量推進事業 地域活動
- 1624 ごみ減量推進事業 2R型エコタウン構築事業
- 1625 ごみ減量推進事業 会費等を活用した自主事業
- 1704 京のアジェンダ21フォーラム事業 観光のエコ化の推進
- 1708 京のアジェンダ21フォーラム事業 会費等を活用した自主事業
- 1709 京のアジェンダ21フォーラム事業 わきの山の利活用

【4】講師派遣事業

- 1401 講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）

【5】調査・研究・開発・発信事業

- 1501 調査・研究・開発・発信
- 1511 Leading project A 飛び出せエコセン！「リンカンガッコウ」
- 1512 Leading project B みやこ KAMADOKI プログラム
- 1513 Leading project C 資金調達プロジェクト
- 1514 Leading project D 調査研究プロジェクト
- 1515 Leading project E デジタル化推進プロジェクト
- 1521 きょうと環境活動応援事業
- 1522 休眠預金活用事業
- 1523 第7回全国小水力発電大会 in 京都

II 収益事業

- 5101 貸会場運営事業

III その他事業（相互扶助等事業）

- 6101 秘密書類リサイクル事業

IV 附属明細書

I 公益目的事業

【1】環境保全活動拠点事業

1 京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）指定管理業務

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う臨時休館もなく、学校や団体の見学も増え、コロナ前の入館者数に戻りつつあります。

（令和3年度46,831名、令和2年度38,406名、
令和元年度90,469名）

	入館者数	前年度比
令和4年度	69,765人	149%



1111 環境の保全に関する活動のための施設の提供

1121 環境の保全に関する資料及び装置の展示

（1）共同主催型企画展

市民・事業者等と共催で環境保全活動のための企画展を9件実施しました。

開催期間	タイトル（共催団体等）
6/25～7/24	「Into the Forest ～環境と芸術をむすぶ展示～」 （書画家 奥田 紗玄）
7/15～8/28	「世界のどローカルごはん展」 （JICA 関西）
8/6～8/21	「4つのRでゴミ削減」 （花王グループカスタマーマーケティング株式会社）
8/10～8/24	「農業・農村のもつ大切な役割～農業・農村の多面的機能の紹介～」 （近畿農政局）
10/3～10/31	「京都のステキな木の空間」 （京都市産業観光局農林振興室林業振興課）
10/7～11/9	「ふろしきで学ぼう SDGs」 （一般社団法人ふろしき研究会）
11/15～12/27	「絵本『さつまくん』原画展」 （絵本作家 家野 未知代）
11/18～2/8	「であいであい ～ゴミからつながるリサイクルアート～」 （無類工務店）
1/13～2/15	「あなたも作ってみませんか？空きビンリサイクル人形大集合！！」 （リサイクル・アート彩）

（2）協会主催企画展

開催期間	タイトル
2/4～7/10	企画展「京エコロジーセンター20周年記念企画展」

(3) 巡回展示

開催日	実施場所・内容
6/25～7/18	Bivi 二条 「海ごみミュージアム」の展示
8/5～8/31	京都市青少年科学センター パネル展示及び移動展示ユニット（食ロス・ライフスタイル）
12/1～1/4	イズミヤ六地藏店 パネル展示
12/7～1/6	京都市役所 パネル展示及び移動展示ユニット（食ロス・ライフスタイル）、海ごみミュージアム

(4) エントランス貸出ツールBOX「ちきゅまるのはこ」利用数

ちきゅまるのはこ	利用組数	利用者数	前年度比（人数）
令和4年度	302	729	350%

(5) 「木のおもちゃひろば」利用数（令和4年9月2日より人数制限のうえ再開）

木のおもちゃひろば	利用組数	利用者数	前年度比（人数）
令和4年度	679	1,893	—

(6) アンケート

令和4年度は301件（前年度133件）の回答を得、62%が京都市内からの来館（うち50%以上が伏見区）でした。来館目的では、「展示の見学」が24%で最も多く、次いで「青少年科学センターの前後に来館」が22%、「たまたま来館」が16%という結果で、この順位は前年度と同じでした。自宅や学校、職場、地域等で取り組みそうなことの有無については、「あった」が54%、「多少あった」が36%という結果でした。「また来館したいと思いますか」という質問への回答では、「来館したい」が86%、「どちらでもない」が11%、「来館したくない」が3%という結果でした。

※京都新聞日刊8月20日掲載（エコカーテン、天水バケツ）

1131 環境の保全に関する情報の収集及び提供

【特記】2021年度に開発した中学生向けのプログラム（館内用と出前講座用の2種）の広報及び実施に力を入れ、参加者からのフィードバックを得て、さらなる改善を行います。

グリーンコンシューマーについて学ぶ中学生向けプログラムを2校を対象に実施しました。団体見学や京都市立小学校向けのエコ学習、出前講座の実績は以下の通りです。

(1)

団体見学	団体数	人数	前年度比（人数）
令和4年度	121	3,133	165%

(2)

エコ学習	団体数	人数	前年度比（人数）
令和4年度	71	1,740	199%

(3) 出前講座

開催日	実施場所	参加人数
7/16	桂東児童館 再生可能エネルギークイズと発電体験	60
8/22	祥栄児童館 再生可能エネルギークイズと発電体験	16
10/16	フレンドマート MOMO テラス店 フードロスに関するクイズ	225

1142 環境副読本発行

令和5年度版環境副読本小学4年生用の改訂を行い、改訂に際しては、児童の読みやすさや教員の扱いやすさ等を意識しました。令和5年度は環境副読本小学5年生用の改訂を進めていきます。小学4年生用・5年生用各12,500部、中学生用16,000部を京都市内の全小中学校に配布しました。あわせて、環境副読本の活用を増やしてもらうため、各教科や総合的な学習の時間での活用方法の紹介も配布しました。また、京都市内全中学校には、中学生用の環境副読本を使用した出前講座（アウトリーチプログラム）のお知らせを配布し、学校現場でのSDGs学習に活用してもらえるようにしています。

さらに、ICT教育の普及に伴い、環境副読本のwebコンテンツを準備し、京エコロジーセンターHP上で公開しています。

1144 ホームページ等による情報発信

イベント案内チラシを隔月で作成し、近隣小学校等に向けて発行しました。その他、市民しんぶんや「あつまれ！京わくわくのトビラ」などの外部のイベント情報媒体等にもイベント情報や企画展情報などを掲載しました。京エコロジーセンターホームページに設置しているフォームより他団体主催のイベント情報を受け付け、それらも京エコロジーセンターのホームページにて情報発信しました。

1145 環境の保全に関する講座、研修等の開催

子どもから大人までを対象とした館内外でのイベントを様々な団体との協働で開催し、講演会はオンラインでも配信しました。

前年度も非常に好評であった京都の伝統産業・伝統工芸ワークショップ（京都伝統産業交流センターとの共催）については、今年度は、より多くの方にご参加頂けるように、テーマを2つに絞り、開催日も2日間設けるようにしました。

開催日	タイトル、講師（敬称略）	参加人数
4/30	京エコロジーセンター開館20周年記念講演会 「暮らしを未来につなぐ～脱炭素型の持続可能なライフスタイルへの転換～」 講師： ・澁澤寿一（NPO 法人共存の森ネットワーク理事長） ・伊勢武史（京都大学フィールド科学教育研究センター森林生態系部門森林育成分野准教授） ・松田直子（株）Hibana 代表取締役	114 （来館 24・オンラ イン90）

5/3	どっち買う？～地球にやさしい食べもの紙芝居&クイズ～ 講師：生活クラブ京都エル・コープ	21
5/14	エコそらキッズ①「オープニング・緑のカーテンづくり」	40
5/28	エコそらキッズ②「田植え・夏野菜植え付け他」	34
6/18	エコそらキッズ③「かかし作り、野菜の世話」	29
6/4～ 6/30	梅雨を楽しく過ごそう！おうちでエコ傘づくり	21
7/16	エコそらキッズ④「野菜の世話と収穫、生きもの観察」	25
7/24	企画展関連イベント「アート de エコな暮らし方」 ①「漢字を水で書こう！」 ②「東洋芸術の“余白”から考えるエコな生き方」 講師：書画家 奥田 紗玄	①10 ②7
7/29	LED 工作教室～親子で家ライト作り～①・②	①18 ②24
7/30	館外イベント「マイ風力発電機を作ろう！in セントラルスクエア」	8
8/6	エコそらキッズ⑤「収穫・野菜の世話・藍染」	25
8/9	親子で学ぶ！エネルギーの創・畜・省と工作教室 ～次世代エネルギーキット作り～①・②	①16 ②20
8/11	企画展関連イベント「世界のどローカルごはんを知ろう！」 第1部・第2部【オンライン】	第1部 23 第2部 21
8/12	「リユース工作で楽しく学ぼう！再生可能エネルギーの力」①・②	①23 ②21
8/14	映画「ザ・トゥルー・コスト」上映会 ～ファッションの裏側を知る～ 第1部・第2部 ※京都新聞日刊 8月15日掲載	第1部 20 第2部 16
8/18	館外イベント「おやさい絵の具でぬりえあそび」 講師：Lápiz Private 代表 山内 瑠華、スタッフ 馬場 三乃梨	8
8/19	「リユース工作で楽しく学ぼう！再生可能エネルギーの力」①・②	①11 ②16
8/20	館外イベント「マイ風力発電機を作ろう！in セントラルスクエア」	6
8/20	企画展関連イベント「私たちの生活とプラスチック」①	27
8/21	企画展関連イベント「私たちの生活とプラスチック」②	35
8/27	エコそらキッズ⑥「収穫・冬野菜種まき」	24
9/10	エコそらキッズ⑦「緑のカーテン片付け・冬野菜植付」	27
9/24	エコそらキッズ⑧「稲刈り・落花生収穫」	33
10/15	エコそらキッズ⑨「野菜の収穫・芋ほり」	27
10/22	ふろしき包んでSDGs①② 講師：一般社団法人ふろしき研究会代表 森田知都子	①6 ②10
10/29	エコそらキッズ⑩「脱穀・もみすり」	26
11/19	エコそらキッズ⑪「食に関するゲーム」	34
11/20	実はエコな食べ物!?手作りソーセージ教室 講師：シャルキュトリーリンデンバーム店主 吉田英明	32
11/26	環境×京都の伝統産業・伝統工芸 ワークショップ 第1回 竹かごづくり①・② 講師：横山竹材店	①19 ②16

12/3	エコそらキッズ⑫「クッキング（グループに分けて）①」	16
12/10	エコそらキッズ⑬「クッキング（グループに分けて）②」	14
12/17	環境×京都の伝統産業・伝統工芸 ワークショップ 第2回 和蠟燭絵付け①・② 講師：中村ローソク	①18 ②19
1/7	エコそらキッズ⑭（おもいで絵巻作成）	24
1/21	エコそらキッズ⑮（おもいで絵巻の発表、ふりかえり）	29
1/22	環境×京都の伝統産業・伝統工芸 ワークショップ 第3回 竹かごづくり①・② 講師：横山竹材店	①20 ②17
1/29	館外イベント「ロボット“こくり”からの挑戦状 ～SDGs クイズをクリアせよ～」	47
2/12	遊びが芽を出すおもちゃの時間 講師：東京おもちゃ美術館 ディレクター 岡田哲也	①9 ②25
2/18	環境×京都の伝統産業・伝統工芸 ワークショップ 第4回 和蠟燭絵付け①・② 講師：中村ローソク	①20 ②21
3/26	石が絵具に！？手作り岩絵具教室 講師：NPO 法人富士山からはじまる天然顔料と粉砕の研究会 理事長 橋本弘安、副理事長 内藤牧男	①14 ②13

1146 環境保全促進のための研究、調査等

令和3年度に発足した「京都発炭素ライフスタイル推進チーム～2050京創ミーティング～」の事務局を京都市と共に担い、会議の進め方の提案や当日運営の他、検討する内容に関する情報収集や提案、メンバー及び関係者との情報交換等を行いました。

令和4年度は、推進チーム会議を3回開催し、その議論を踏まえて2050年の脱炭素ライフスタイルのビジョン等を策定しました。その他、具体的なプロジェクトを進めるためのWG会議を「消費行動」「住まい」「つながり」の3つのテーマ別に2回ずつ計6回、また、WG合同会議を1回開催しました。

【2050年脱炭素ライフスタイルのビジョン】

京都の自然と共生する文化やしまつのこころを礎に一人ひとりがライフスタイルに合った持続可能な暮らしを選択し、カーボンニュートラルを実現している社会

1147 環境ボランティアの育成

事務局全体でボランティアのコーディネートを行うとともに、ボランティア全体の活動意欲を高める場（マネジメントの会）を11回、館内案内等のボランティア活動へ活かす研修（ボランティア研修、プログラム研修等）を、18回実施しました。研修内容によって対面とオンラインを使い分けたり、併用したりしながら実施しました。また、ボラ

ンティアが自主的に活動を展開するグループ活動では、ボランティアによる自主企画が12件実施されました。

エコメイト養成講座は、講座の一部をオンデマンド配信にして講座時間を短縮し、対面で開催しました。講座申込者31名のうち28名が参加し、そのうち22名がエコメイト23期として登録しました。

◇マネジメントの会

開催日	タイトル	対象	参加人数
4/3	登録証授与式	エコメイト 22期	44 (来館 39、オンライン 5)
4/3	スタートアップの会	エコメイト	43 (来館 36、オンライン 7)
5/22	グループ活動・サポート活動説明会&報告会	エコメイト 京エコサポーター	45 (来館 37、オンライン 8)
6/4	施設ボランティア交流会	エコメイト 京エコサポーター	23
7/2	エコセンボランティアミーティング①	エコメイト 京エコサポーター	28
9/11	中間ふりかえりの会	エコメイト	27 (来館 25、オンライン 2)
9/11	ハイムーン先生による「SDGs をマンガで読み解く」お話し会	エコメイト 京エコサポーター	31
10/22	エコセンボランティアミーティング②	エコメイト 京エコサポーター	18 (来館 14、オンライン 4)
2/26	京エコサポーター活動説明会	エコメイト 20期 京エコサポーター	21
3/19	年間ふりかえりの会	エコメイト	32 (来館 29、オンライン 3)
3/19	修了証授与式	エコメイト 京エコサポーター	35

◇各種研修

開催日	タイトル	参加人数
4/22	ボランティア研修① 「マナー&コミュニケーション」	20 (来館 16、オンライン 4)
4/23	ボランティア研修① 「マナー&コミュニケーション」	25 (来館 19、オンライン 6)
5/28	ボランティア研修② 「ごみ」	43 (来館 34、オンライン 9)
6/5	ボランティア研修 (臨時) 「天水バケツを知ろう」	28
7/30	ボランティア研修③ 「地球温暖化に関する基本情報」	58 (来館 43、オンライン 15)
8/28	ボランティア研修④ 「施設設備」	38
9/25	ボランティア研修⑤ 「水」	40 (来館 32、オンライン 8)
11/21	ボランティア研修⑥ 「電気(社会見学)」	44
12/4	ボランティア研修⑦ 「暮らし」	30 (来館 26、オンライン 4)

2/4	ボランティア研修⑧ 「COP・地球温暖化最新情報」	44 (来館 24、オンライン 20)
5/9	プログラム研修「小4エコ学習/ごみ減らし隊」	9
5/13	プログラム研修「小4エコ学習/ごみ減らし隊」	12
10/4	プログラム研修「小5エコ学習/温暖化ふせぎ隊」	14
10/12	プログラム研修「小5エコ学習/温暖化ふせぎ隊」	8
6/11	ガイド研修①	30
11/6	ガイド研修②	14
7/17	通い帳研修①	12
7/20	通い帳研修②	13

◇ボランティアによる自主企画イベント

開催日	タイトル	参加人数
7/2	君はSDGsを知っている?!楽しみながら学ぶ 「SDGsビンゴゲーム」	42
7/30・8/6・11・18	エコセン☆夏休みワクワクひろば	106
7/30・8/3・7・8	ボランティア推薦図書特別展示絵本&POP 展関連 イベント「絵本の読み聞かせ」	75
7/31	家庭のごみ減量診断	43
8/6	マイ風力発電機を作ろう!	54
8/19・20・21	夏休みエコドリル探検隊	91
12/18	牛乳パックでソーラーメロディハウスを作ろ う! ~クリスマス・バージョン 2022~	7
12/25	エコマートでお買い物ゲーム ~紙芝居&絵本の読み聞かせ~	33
2/23	家庭のごみ減量診断	45
3/25	館外イベント「エコマートでお買い物ゲーム」	80

◇ボランティアによる自主企画展示

開催期間	タイトル
7/20~8/16	ボランティア推薦図書特別展示絵本&POP 展
10/18~11/14	秋の読書週間 POP 展

◇その他

実施日	名称	従事者数
8/6・7・11・13・14・ 15・20・21・27・28	3施設連携企画展案内ボランティア	41

1148 環境保全活動に関わる人材の育成

脱炭素社会の実現に向けて興味関心がある方を対象に「今日からはじめる脱炭素経営」(旧自然エネルギー学校・京都)をオンラインで実施しました。また、10月~12月には、環境保全活動を推進するために、地域等で活躍できる人材の養成を目的とした「環境活動パワーアップ講座2022」を実施しました。講座期間中には修了後の活動の場の情報提

供を行い、受講者同士がコミュニケーションを取れるようにメーリングリストを作成しました。

◇今日からはじめる脱炭素経営 ～中小企業・大学・公共施設でできるカーボンニュートラル～
【オンライン】（4回連続講座）

開催日	タイトル	参加人数
6/18	事業者に脱炭素経営が求められる理由	13
7/16	「省エネ設備の投資回収年数と削減可能性把握」	14
7/30	「自然エネルギーを調達するための様々な手段」	9
8/27	「脱炭素経営へ向けた計画策定方法」	15

◇環境活動パワーアップ講座 2022（5回連続講座）

開催日	タイトル	参加人数
10/15	「何を実現したいのか どんな活動がいいのか、じっくり考え伝えてみよう」	11
10/23	「仲間と一緒に思いをカタチにする力をつけよう」	9
11/5	「私（達）はどんな力があるのか 様々なつながりを考えてネットワークを広げよう」	7
11/19	「いろいろな立場の人と協働しよう フィールドを体験しよう」	7
12/10	「私（達）は何をこれからするのか 考え、伝え、多くの人にも呼びかけよう」	7
12/11		7

1149 海外との交流

国外の他都市との連携の一環として、マレーシア国ジョホールバル市長を含む団体を受入れました。センターでは同市での環境学習施設の設立に向け、施設運営に携わる職員に、センターの持つ展示開発や人材育成プログラム、中間支援などに関するノウハウを年間を通じて提供してきました。その結果、1月にジョホールバル市スルタンイスマイル図書館内に環境学習拠点「Sudut Letari (サステナブルコーナー)」が開設され、2月に行われた開設セレモニーにはセンター館長らが出席し、開設を祝うとともに現地関係者と連携・交流の強化を図りました。本事業の取組について、センターのブログやFB、館内にある国際事業紹介コーナーにて広く発信しています。

今年度の海外からの団体見学対応は、8団体 140人でした。国内外で活動する環境団体等の連携・交流につながるような国際的な取組の推進に向けて、各団体や大学等の研究者や実践者についての情報を引き続き収集しています。

1150 大学生の環境活動支援

7月～1月まで、長期インターン生として大学生を3名受入れました。環境に関心のある大学生が行動に移すことができるよう支援を行い、企画展示の企画と環境活動を行



う大学生と関わるイベントの運営を行いました。活動中には、インターン修了後も継続して環境保全活動に参加できるような場の情報提供を行いました。

エコそらキッズの大学生ボランティアは4名受入れ、各回のふりかえりだけでなく、学生自身の学びにつながるように活動全体のコーディネートを行いました。

10月に実施した「みやこ学生エコサミット」では、発表団体を募集し、4つの学生団体が参加しました。対面での初の開催となり、積極的な意見交換や交流が行われました。その後、各団体とは継続的に連絡を取り、館外でのブース出展へのコーディネートをする等、活動の発展につながる機会の提供や場の情報提供を行いました。

個人や団体からの問い合わせは13件あり、イベント協力や研究活動への支援等を行いました。9月には京都産業大学のボランティアセンターの学生スタッフの見学を受け入れ、情報交換を行いました。また、2021年の共催企画展の際に協力で来られていた大学のゼミに所属する大学生が、研究相談やゼミ活動の広報などで継続的にセンターを利用いただいています。

◇環境活動を行う大学生への活動支援内容

実施日	名称	支援内容	大学・団体名
7/5	環境活動に関する相談	相談	京都産業大学
7/13・25	環境活動に関する相談	相談	京都産業大学ボランティアサークル NONTS
7/20	環境活動に関する相談	相談	神戸大学
8/27	イベント企画に関する相談	イベント共催	立命館大学 natuRable
9/1	龍谷大学「生物多様性」に関する研究テーマの相談	研究支援	龍谷大学
10/4	環境教育に関するヒアリング	研究支援	NPO 法人気候ネットワーク インターン
10/29、11/5 11/26、12/3	「朝市・マルシェ」に関するアンケート調査	研究支援	龍谷大学
11/8	「持続可能な地域づくり」に関するヒアリング	研究支援	滋賀県立大学
12/26	保冷剤きらきらリメイク大作戦に関する相談	共同主催	立命館大学 natuRable
1/11	「プラスチックごみの分別」についてのインタビュー	研究支援	同志社大学大学院
1/27	「小谷ゼミと学ぶSDGs」広報依頼	広報協力	同志社大学
1/30、3/10	「西浦通信」広報依頼	広報協力	龍谷大学
3/4	保冷剤が海に大変身！自分だけの“海”を作ろう！	共同主催	立命館大学 natuRable

1151 アウトリーチ（館外での実施）

【特記】プログラム（出前講座、館外プログラムの実施、巡回型企画展示等）や講座・セミナーなどを館外で積極的に実施します。他事業との連動を常に意識しながら、京エコロジ

ーセンターで培ったノウハウを館外における啓発・環境活動支援に役立てます。(各事業内で実施)...

既述の巡回展示や出前講座、館外イベントのほか、以下のような館外イベント・ブース出展を実施しました。

◇情報発信・館外イベント

開催日	実施場所	参加人数
4/2	大宮交通公園 ウォールデンマーケット	113
4/16～17	岡崎公園 アースデイ in 京都 2022	424
10/1～2	梅小路公園 「梅小路公園グリーンフェア 2022 秋」	288
10/30	朱七子どもフェスティバル	128
11/6	宝ヶ池公園 どろんこ園 おやこまつり	218
11/12	ECO 縁日 2022	235
11/13	外部出展 (科学の祭典)	196
11/13	宝ヶ池公園 どんぐりまつり	34
11/14	国立京都国際会館 KYOTO 地球環境の殿堂	60
11/17	エコメイト養成講座説明会 (京都市要約筆記サークル かたつむり) ※館外実施	11
11/20	エコメイト養成講座説明会④ ※館外実施	9
11/23	深草商店街 ふかくさ 100 円商店街	90
11/26	MOMO テラス みんな DE あ・そ・ぼ♪	120
2/5	第 17 回「科博連サイエンスフェスティバル」	70
2/13	岡崎公園「京都おもいも大作戦 2023」	29
3/11	旧東山まち美化事務所 もっぺん陶器東山	200

京エコロジーセンター開館20周年記念事業

令和4年4月に迎えた開館20周年を記念して、以下の様々な記念事業を実施しました。また、環境ボランティアの有志による企画「エコセン 20th (ハタチ) ボランティア祭」が6月23日に開催されました。新旧館長によ間のボランティア活動のふりかえり、グループに分かれてのこれからのボランティア活動について語るワークショップ、クイズや記念植樹などの盛りだくさんの企画で、環境ボランティア76名に加え、職員OBなど関係者13名が参加し盛大に行われました。



※京都新聞日刊4月28日掲載

※京都新聞ジュニアタイムズ5月15日掲載

20周年ロゴの作成
20周年記念企画展 (～7月10日)
20周年記念おえかきキャンペーン (～5月22日) (SNSでぬり絵・お絵描きをして、SNSで発信してもらうキャンペーン)

20周年記念冊子の作成
20周年たんけんパズル（企画展と記念冊子との連動）
広報誌えこせん「20周年記念号」の作成
20周年記念ノベルティの作成（紙ファイル・木のバッジ・木のピンバッジ・ハイムーン20周年描きおろしイラストのポストカード）
20周年記念講演会 4月30日（土）13:00～16:00 来館及びオンライン 「暮らし」を未来につなぐ～脱炭素型の持続可能なライフスタイルへの転換～



2 さすてな京都運營業務 ※京都市委託事業

2101 さすてな京都運營業務

当協会と2社による連合体「さすてな京都運営コンソーシアム」として実施しました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う臨時休館もなく、前年度施設利用者数（21,624人）を超える状況となりました。

	施設利用者数	前年度比
令和4年度	37,988人	175%

(1) 3施設連携事業

青少年科学センター・京エコロジーセンター・さすてな京都をつなぐシャトルバスを運行し、伏見区環境学習拠点3施設の連携として以下を実施しました。

期 間	名 称	内 容
8/5～31	夏休み期間中の伏見区3施設連携企画	青少年科学センターにて、3施設による環境に関するパネル等の展示・動画放映の実施、及びワークショップを開催
11月～2月	伏見に来てどこで学ぶ？京都の伝統産業・伝統工芸	（公財）京都伝統産業交流センターとの共催で、体験講座を3施設にて実施
2/5	科博連サイエンスフェスティバル	京エコロジーセンターにて、体験講座を開催

(2) 開館3周年記念プログラム

期間	名称	内容
10/6～11/29	3周年記念SDGsクイズラリー	工場見学通路など館内にSDGsに関するクイズスポットを設置

9月～12月	企画展「ハイムーンSDGsイラスト展」	身近で親しみやすいマンガを通して、環境問題やSDGsについて考える。
10/23	さすてな講座	京都市動物園とのコラボ企画「キリンのはてな？～野生と動物園のキリンは同じ？違う？～」
10/30	へちまのはてな？へちまたわし編	へちまの実を使った「へちまたわし」に触れながら、半年間育てたへちまの成長を振り返る。
11/13	薬博士と薬づくり（紫雲膏）を体験しよう！	武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園のスタッフと一緒に、昔ながらの材料から紫雲膏をつくる。
11/20	心潤うヴァイオリンとピアノのアンサンブル～さすてな☆SDGs親子コンサート～	クラシックの名曲から、映画・アニメ音楽など、おなじみの曲を聞きながら、楽器のこと、音楽のこと、環境のことについて詳しく知る。
11/23	京こまをつくろう！京都の伝統産業・伝統工芸から学ぶSDGs	京都の伝統産業・伝統工芸の製作体験を通して、京のくらしと伝統産業・伝統工芸、そしてSDGsのつながりを考える。
11/27	京都ハンナリーズ環境DAY in さすてな京都	ハンナリーズの選手による「工場見学ワンポイント解説」、チームのレジェンドによる生解説付きパブリックビューイング等を実施

【2】国際事業 ※JICA委託事業

1201 JICA 課題別研修「脱炭素で持続可能な都市・地域開発のための自治体能力強化」

9月12日～10月18日の約1カ月間にわたり、オンライン（オンデマンド教材による独学及びZoomによるリアルタイムセッション）での研修を実施しました。参加者は7カ国（チリ、インドネシア、ラオス、マレーシア、ナイジェリア、タイ、ベトナム）から9名でした。気候変動がテーマの研修でしたが、研修員それぞれの所属や直接担当する業務が幅広く（交通、水資源、エネルギー、廃棄物管理、防災（特に洪水緩和）、都市開発等）、様々な視点で意見交換をすることができました。すべてオンラインでの研修ではありませんでしたが、各講師・事例紹介者の協力により、リアルタイムで研修員と意見交換を行う機会を設けることができ、非常に活発な意見交換が行われました。

教材で学んだことや、研修員同士、研修員と講師・事例紹介者との意見交換を通じて学んだことを活かし、それぞれが取り組むアクションプランを作成しました。

1202 JICA 草の根事業 マレーシア国「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト」

5月と11月に現地への専門家派遣を行い、現地のエコセンター“Sudut Lestari”開設に向けた展示及び環境学習プログラム開発、ボランティアプログラム開発とボランティア養成についてのレクチャーやワークショップを実施しました。また、7月にはエコセンターの職員とイスカンダル地域開発庁の職員を対象に訪日研修を行い、京都の取組

だけでなく北九州市の取組なども視察し、エコセンター開設に向けてアイデアを膨らませました。

この訪日研修のタイミングにあわせ、ジョホール・バル市長一行も京都を訪れ、京都市副市長との表敬訪問を行うことができました。2023年1月にはエコセンターが開設し、同年2月に正式なオープニングセレモニーを実施され、ジョホール・バル市長、協会理事長、京都市職員、JICA関係者等が出席しました。

※京都新聞日刊3月17日掲載

1203 JICA 日系研修受け入れ業務

2023年1月より1名の研修員をブラジルから受け入れ、1ヶ月間の研修を実施しました。京エコロジーセンターでのOJTが中心となりましたが、研修員の関心や問題意識等にあわせ、他の環境学習施設等の見学も交えて進めました。研修の最後には自身が所属する組織が所有する「Water Museum」における環境学習の導入に関するアクションプランを発表しました。

1206 JICA技術協力プロジェクト「インド国ヴァラナシ市衛生改善プロジェクト」支援業務

インド国ヴァラナシ市でのプロジェクトの一環としての訪日研修は2023年度秋頃の実施となりました。このプロジェクトをきっかけにつながった一般財団法人日本環境衛生センター（JESC）が実施する別の廃棄物関連の研修において、環境教育をテーマとしたセッションの実施や、大気環境管理分野の研修コースの一環で、京都におけるパートナーシップでの環境活動の取組事例を紹介しました。

1205 その他 国際事業（調査、案件形成等）

情報収集や、国際協力団体とのネットワークングに向けた取組を進めていますが、具体的な事業を企画・提案するには至っていません。

【3】地域環境活動支援事業

1301 「エコ学区」ステップアップ事業に係る学習会等支援事業 ※京都市委託事業

京エコロジーセンターに「エコ学区サポートセンター」を開設し（平日9時～17時）、地域ぐるみのエコ活動についてのワンストップサービスの相談窓口として対応しました。エコ学区として宣言した222学区及び、学区以外のコミュニティ（自治会、ボランティア団体及び大学サークル等）に対し、エコ活動の現場取材、地域へ直接アプローチを行うなど、地域ぐるみのエコ活動を促進しました。

(1) 学習会（定数10件）

学区と学区以外のコミュニティを対象に公募し、「2050年CO₂ゼロ どこでもトーク」を実施しました（学区2件、学区以外8件）。

◇学習会実施一覧

日付	タイトル	講師	学区/団体	参加者数
9/28	おうちで堆肥ができる段ボールコンポスト	榊原 悦子 氏、小宮山 美恵子 氏 (桃山エコ推進委員会)	小P連西京東支部	21
9/29	おうちで堆肥ができる段ボールコンポスト	榊原 悦子 氏、小宮山 美恵子 氏 (桃山エコ推進委員会)	南区はぐくみネットワーク実行委員会	23
11/12	昆虫食を食べながら学ぶ食料の未来	松井 崇史氏 (株式会社昆虫食のentomo)	上高野エコ推進会議	47
11/19	科学者の描く未来予想図	伊勢 武史 氏 (京都大学フィールド科学教育研究センター)	桂東自治連合会	21
11/28	伝統産業とサステナビリティ	堤 卓也 氏 (株式会社堤浅吉漆店)	一般社団法人my turn	9
12/3	わたしたちの暮らしとエネルギー	木原 浩貴 氏 (たんたんエナジー株式会社)	京都友の会	24
1/19	斗々屋ゼロウェイストスーパーマーケットごみの出ない買い物を実現	梅田 温子 氏 (株式会社斗々屋)	立命館小学校	125
1/21	アップサイクル工作教室	矢津 吉隆 氏、山田 毅 氏 (副産物産店)	京都生活協同組合	12
1/26	はじめよう、ごみを生まない「小売」	梅田 温子 氏 (株式会社斗々屋)	くるん京都	36
3/23	斗々屋 ゼロウェイストスーパーマーケットごみの出ない買い物を実現	梅田 温子 氏 (株式会社斗々屋)	Kita Living Lab	10
合 計				201

(2) その他支援

学習会の定数10件に対し計44件の応募があったため、学習会に漏れた学区等に対し、京都府センターうちエコ診断や、京エコロジーセンター館外出展、団体へのマッチングや協会講師派遣を実施しました。

1303 2050年CO₂排出量正味ゼロに向けたみちづくり支援事業 ※京都市委託事業

テーマ	活動団体と主な支援
おさかな編	活動団体：京の川の恵みを活かす会 <ul style="list-style-type: none"> ・京都市立京極小学校とのマッチングと総合学習の実施支援 ・京都精華学園中学校、高校へのマッチングと環境学習の実施支援 ・鴨川の現状についての理解を深める冊子の作成
おやさい編	活動団体：株式会社中嶋農園 <ul style="list-style-type: none"> ・地域循環型農業を周知するイベントの企画運営 ・向島地域や伏見区青少年活動センター等とのマッチング ・伏見こども新聞による循環型農業についての発信支援

まちなか 公園編	活動団体：大宮交通公園で活動する団体 ・サステナブルパークの実現に向けた「実行委員会」への伴走支援 ・活動の見える化に向けた情報提供 ・地域コミュニティとのマッチングと2023年度事業計画の策定支援
再エネ率 向上編	活動団体：再生可能エネルギー導入を推進する団体 ・エコ学区等を対象にした、再エネ・省エネ学習会を1回実施 ・小規模オフグリッドソーラー導入の支援（2件） ・学区への太陽光発電所設置可能性調査

1304 企業等連携によるプロジェクトの創出及び実証支援事業 ※京都市委託事業

2050京創ミーティングの下に、「消費行動」「住まい」「つながり」の3つのテーマ別WGを結成。参画するメンバーがビジョン、目標・指標及びアクションリストに基づき、市民がライフスタイルをよりCO2の排出が少ないものに転換していくための仕掛け（プロジェクト）を議論し、具体化に向けた検討・実証を行いました。

消費行動		支援費 ※1	コー ディ ネー タ ※2	住まい		支援費 ※1	コー ディ ネー タ ※2	つながり		支援費 ※1	コー ディ ネー タ ※2
1	使用済衣服の回収&循環プロジェクト	○	○	1	つながりを感じられる住まいづくり（京都の冬は寒くないプロジェクト）	○	○	1	京都脱炭素ツーリズムのHUB創設	○	○
2	四条通をサステナブルのシンボルへ		○	2	賃貸マンションの再エネ電気切替促進		○	2	環境配慮型農業の実践		○
3	里山や地域循環について知る機会の創出		○	3	実証実験によるデータ収集・分析と発信	○	○	3	地域での生ごみ堆肥の活用推進	○	○
4	レスキュー野菜の地域での販売	○	○	4	省エネ家電購入促進に向けたナッジの活用			4	脱炭素アンバサダー制度		○
5	アートやデザインを活用したアップサイクルの実施		○	5	住宅の省エネ・再エネ分を取引できる仕組み			5	サーキュラーエコノミービジネス人材の育成プログラム		
6	脱炭素チャレンジ			6	賃貸住宅紹介時の省エネ性能の見える化			6	土中環境の改善		
7	菜食対応のメニューを提供する店舗の見える化			7	断熱性能の良い家の体験の場づくり			7	ていねいな暮らしを学べる学校		
8	エコポイント制度の導入			8	中古家電・家具2Rプラットフォーム			8	歩くデジタルスタンプラリー		
				9	情報共有のHUBづくり			9	規格外野菜の販売		

※1：○印は、令和4年度に支援費30万円を活用するプロジェクト

※2：○印は、各分野に精通したコーディネータを付けて支援していくプロジェクト

なお、いずれも○印のない項目：今後取組む予定のプロジェクト

◇上記一覧のうち、太字プロジェクトの概要

No.	内容
消費行動1	イベント「循環フェス」を2回開催。使用済衣服の回収BOXを設置し、地域内で循環させるプラットフォーム「RELEASE⇄CATCH」を創出。
消費行動2	サステナブルの象徴である祇園祭の駒形提灯を再エネ化することで、地域での意識向上を図り、四条通のアーケード再エネ化の実現を検討。
消費行動3	EVタクシーや「かけもち」運送バスで巡る「京都 モノの源流を巡る循環ツアー」モデルツアー・メディア向けツアーを計3回実施。
消費行動4	生産や流通過程においてまだ食べられるのに廃棄されてしまう野菜「レスキュー野菜」を活用し、ミックスジュースとして販売。
消費行動5	芸術資源循環プロジェクト「アートサーキュレーション2023」令和5年8月に移転を控える京都市立芸大の備品の利活用を検討中。

住まい1	京都精華大学の学生寮にて、脱炭素に向けたワークショップと、空き部屋と共有部の廊下窓にて窓断熱ワークショップを開催。
住まい2	賃貸マンションのオーナーに対し、省エネや再エネ設備導入に向けたアンケートを設計。
住まい3	賃貸マンションに住む学生に対し、省エネや再エネ設備へのニーズについてアンケートの設計、調査分析を行う。
つながり1	訪れる地域の脱炭素ライフスタイル+SDGs に貢献する「スローツーリズム」をコンセプトとしたモデルツアーを、3月に3回実施。
つながり2	市民や飲食店を対象とした農業体験の場づくりや、移動販売による地産地消の推進について、伴走支援を行った。
つながり3	生ごみたい肥の回収について、廃掃法に抵触しないよう助言を行う。大宮交通公園にてLFC コンポスト堆肥回収会&ミニ講座を2回開催。
つながり4	脱炭素アクションの見える化する仕組みについて、環境省の食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業申請し、採択された。

1305 市民ワークショップ等の開催 ※京都市委託事業

【特記】市民に、脱炭素ライフスタイルビジョン、アクション及びプロジェクトについて、学び、自分ごととして考えていただくためのワークショップや、学生に対して、プロジェクトを新たなビジネスとして考えていただくアイデアソンを開催

幅広い層の市民が参加できるよう、市内で開催される他団体主催の行事との連携などを図りながら、市内各地で多様な対象者を想定した市民ワークショップを6回開催しました。参加者を対象としたアンケートによると、ライフスタイルの転換に前向きな回答が約85%を占めましたが、全体の約7割は脱炭素ライフスタイルに関する行動に関心があり、ある程度実践していると答え、もともと関心のある層の参加が多かったことがわかりました。

◇市民ワークショップ

開催日	概要	場所	参加人数
10/3	京都発脱炭素ライフスタイルについて考える市民ワークショップ (上京区民まちづくり会議「上京!MOW」)	西陣織会館	7
10/8	脱炭素ライフスタイルの転換を考える作戦会議 (「ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで語り、いろいろ焼いて食べる会」 火守ボランティア対象)	みやこめっせ	24
11/22	“脱炭素な住まい方”を考える市民ワークショップ (WE LOVE KYOTO ~SDGsで暮らしやすい京都の新たな魅力を創造しよう!~)	京都御池創生館	16
12/17	脱炭素のビジネスを考えよう! 「DO YOU KYOTO? 2050 アイデアソン」	大宮交通公園	7
12/18	明日から実践!環境に配慮した暮らしのアイデアを出し合うワークショップ (暮らしのなかの〇〇なヒントと出逢うフェスタ)	大宮交通公園	4
2/11	カードゲーム「2050カーボンニュートラル」体験会	職員会館かもがわ	18

1306 市民ライター育成事業 ※京都市委託事業

【特記】市民自らがライターとなって、脱炭素ライフスタイルに資する取組を発信

京都市在住の参加者を公募し、脱炭素ライフスタイルにつながる京都市内のデザイン・トラベルスポットを紹介する記事を作成するため、街の魅力を自分たちの言葉で伝える文章の書き方や、写真の撮影方法などについて学ぶワークショップを3回実施しました。完成した9件・9名の記事は、京都市の脱炭素ライフスタイル推進事業公式ホームページ「2050 MAGAZINE」に掲載されました。

1307 住宅の再エネ地産地消・地域循環推進事業 ※京都市委託事業

住宅における太陽光発電設備等の設置によって生み出される環境価値を、国のJ-クレジット制度を活用して金銭価値化し、その価値をカーボンニュートラルに取り組む市内企業等に売却した収益を入会者のCO2削減量に応じて市内の加盟店で利用可能な地域ポイント（さんさんポイント）で還元する仕組みを構築し運営しました。

令和4年度は、京都再エネクラブの入会者が333名、導入支援ポイントの付与者が116名でした。

1308 環境に配慮したMICE調査 ※京都文化交流コンベンションビューロー委託事業

世界的なカーボンニュートラルに向けた流れにあって、MICEとりわけコンベンション開催時における温室効果ガス測定やカーボンオフセットの取組推進は、コンベンションの京都誘致において喫緊の課題と言えます。このため、京都ならではの仕組みを検討していくに当たり、国際会議に焦点を当て、①環境負荷軽減の国際的基準やトレンド、②国際会議における環境負荷の状況、③負荷軽減に向けた課題と取組、④京都が目指すべき環境に配慮した国際会議とは、⑤温室効果ガス排出量、削減量の見える化、⑥カーボンオフセットの取組、について基礎調査及び提言を行いました。

1309 脱炭素の見える化 ※地球環境基金助成金事業

市民が脱炭素ライフスタイルを具体的にイメージし、その行動がどれくらい効果を発揮するのかを実感できるようにするため、地球環境基金助成金（令和4年度から6年度）を活用し、市民行動の実態やどのような要因が行動変容に影響を及ぼすか調査し、継続的に把握できるようにしながらその成果を活用します。さらに、市民や事業者から脱炭素ライフスタイルに関する体験やビジネス情報等を発信することで、脱炭素化が進んでいくための仕組みを構築します。

令和4年度では、脱炭素ライフスタイルの見える化に関する検討会を3回、学生ワークショップを2回開催し、市民へのアンケート調査、広報ツールに関する検討会を1回、脱炭素ライフスタイル発信者の研修を2回実施しました。

1503 住宅向け0円ソーラー ※京都府委託事業

1504 太陽光発電プラットフォーム事業 ※京都市委託事業

引き続き、「京都0円ソーラープラットフォーム」の運営を通じ、事業者と設置者等と

のマッチングを行いました。今年度は、京都市内への回覧用チラシ約5万部の配布や個別相談会を3回実施、セミナー等への講師派遣を3回、複数のSNSを活用した広告発信など、幅広く広報活動を行い、「京都0円ソーラープラットフォーム」経由で約420件の見積依頼がありました。

1600 ごみ減量推進事業

1621 普及啓発 ※京都市委託事業

- (1) 情報誌「ごみ日和」4回発行済(92～95号)
- (2) ごみ減量啓発イベント

昨年に引き続き、市ごみ減量めぐるくん推進友の会と同志社大学政策学部小谷ゼミとの協働で今年度テーマ「衣類ロス削減」の動画を制作し、オンライン発信等を実施。11月～12月に開催された京都環境フェスティバルでも活用しました。

- (3) ごみ減量実践講座の開催

企業向け3回、市民向け4回、こども向け2回、フェス2回を実施しました。

※週刊循環経済新聞(No.1612、1615、1619)掲載

※月間廃棄物2023年2月号掲載

1622 ごみ減量事業化 ※京都市委託事業

「めぐれっと」事業は、コロナ禍で学乳パック洗浄が中断していましたが、6月からの洗浄再開に伴い、製紙工場への運搬を開始し再開しました。

また、京都工業会の協力を得て、事業所内でのめぐレット利用を積極的に働きかけるとともに、販路拡大を目指し関係者と協議を重ねました。

1623 地域活動 ※京都市委託事業

以下の支援を行いました。

- ①行政区単位での地域ごみ減会議総会支援
- ②地域ごみ減への勉強会開催
- ③新規地域ごみ減立上げ支援

1624 2R型エコタウン構築事業 ※京都市委託事業

- (1) 2Rひとつづくり事業

市民・学生へ主にプラスチック製容器包装削減に向けた2R情報発信及び人材養成を実施しました。

- ①祇園祭ごみゼロ大作戦ボランティア説明会での学習会実施
- ②市内大学への出向講義の実施(立命館大学、龍谷大学、京都産業大学 等)

- (2) 2R文化発信事業

リデュース・リユースの考え方やライフスタイル普及に努めました。

- ①映画「マイクロプラスチック・ストーリー」上映会
- ②学習会「こどもと学ぶSDGs」開催

テーマは「快適！おむつなし育児」（講師：松本香澄氏、大関はるか氏）

「長くよく遊べるおもちゃ」（講師：岩城敏之氏）

③京都市内スーパーマーケット環境調査の実施

市内スーパーの62店舗で店頭のプラ包装の現状調査を実施。調査結果をもとに「好事例報告会」を開催しました。

(3) 2Rサービス紹介事業

もっぺんサイト掲載店の「循環フェスティバル」への参加（7月30日市役所前広場）を行いました。

1625 会費等を活用した自主事業 ※自主事業

寄附金事業として、端材活用事業にかかる市民向け講座を実施しました。

「こどもとアートと○△□◇（エトセトラ）～なぜアートがいいのか？」

水野哲雄氏×末永幸歩氏 対談

1700 京のアジェンダ21フォーラム事業

1704 観光のエコ化の推進 ※自主事業

【特記】祇園祭ごみゼロ大作戦へ参画するとともに、持続可能な観光に関する取組を実施します。（当協会は、この取組のスタート時から継続的に参画しています。）

祇園祭前祭の宵山期間には、3年ぶりに露店の出店と四条通、烏丸通の車両通行規制が行われ、祇園祭ごみゼロ大作戦もリユース食器の導入と食器の返却及びごみの分別回収拠点である「エコステーション」の設置など本格的な活動を再開しました。

1708 会費等を活用した自主事業 ※自主事業

KES登録事業所が京都で希少となった植物を育成するなどの生物多様性保全活動をネットワークとして進める「KESエコロジカルネットワーク」の事務局を担いました。また、共同開発した京都市版SDGsボードゲームでは、京都光華高校の探求の時間において、

ゲームを実施した上で、ゲームで紹介されている事例について生徒が直接インタビューを行うプログラムが実施され、そのコーディネートを行いました。

地球環境基金助成金事業での検討会にご参加いただいたことをきっかけに、(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)より依頼があり、共同で「1.5℃ライフスタイル」に関する大学生と企業との意見交換の場としてワークショップ「食から考えるサステナブルな未来」(全2回)を開催しました。



1709 わきの山の利活用 ※夏原グラント助成金事業

京都市立明德小学校の学校林である「わきの山」において、2011年より京のアジェンダ21フォーラム京都環境コミュニティ活動(KESC)として、明德小学校、明德小学校学校運営協議会、および地域企業等を中心に里山保全活動を行ってきました。

令和4年度より夏原グラント助成金を活用し、学校・地域・周辺企業へのヒアリングを行い、それに合わせてわきの山のゾーニングを作成・実践することで、わきの山の持続可能な里山利活用の形を構築し、地域や学校への提案を目指します。

【4】講師派遣事業

1401 講師派遣・講座の企画実施（セミナー・研修・イベント等）

セミナーやシンポジウムに職員を派遣し、環境学習施設運営や市民参画・ボランティアコーディネーションについての講演や事例発表を行いました。

依頼元の要望にあわせた出前講座やワークショップの企画実施などを通して、他団体による環境活動を支援しました。

実施日	派遣事業名	主催
5/19	J A京都市女性部 SDG s の取組（堆肥作り他）	京都市農業協同組合
7/3	セントラルスクエア西大路花屋町店	セントラルスクエア 西大路花屋町店
7/16	エコ研修会	東梅逕ごみ減量推進 会議
8/13	ごみ減量と食品ロスの学習会	乾学区地域ごみ減量 推進会議
8/18	JICA 課題別研修「固形廃棄物管理の基礎（A）」	（一財）日本環境衛生 センター
9/3	第47期 ボランティアコーディネーター養成講座 新任ボランティアコーディネーター基礎研修	日本ボランティアコー ディネーター協会、大 阪ボランティア協会
9/10	京の美しい街並みを守る「PLOGGING・TRAIL」体験活動	子ども達体験倶楽部
10/22	「刺激スパイス展」への講師派遣	咲くやこの花館
10/23	第24回「ボランティアコーディネーション力2級検定」 （大阪）講義のオンデマンド研修及び演習講師	日本ボランティアコー ディネーター協会
11/9	2021年度 JICA 課題別研修「博物館とコミュニティ開発」 コース	国立民族学博物館
11/11	第3分科会「若者と考える脱炭素社会と再エネ」	全国小水力発電・京都 大会実行委員会
11/18	洛伊モ栽培取組報告会	久我社会福祉協議会
11/20	第25回「ボランティアコーディネーション力2級検定」 （東京）講義のオンデマンド研修及び演習	日本ボランティアコー ディネーター協会
12/8	SDG s ボードゲーム（企業研修）	京都伏見工業会 京都商工会議所
1/24	「電気代対策、太陽光で自家消費」	京都府地球温暖化防 止活動推進センター
3/27	伝統産業の事業者を対象としたSDG s セミナーへの 講師派遣	公益財団法人京都伝 統産業交流センター
3/31	JICA 課題別研修「大気環境管理に向けたキャパシティ ビルディング」への講師派遣	（一財）日本環境衛生 センター

4月～ 1月	佛教大学オープンラーニングセンター 「ハイフレックス講座特別企画」(全10回)	佛教大学オープンラーニングセンター
-----------	--	-------------------

【5】調査・研究・開発・発信事業

1501 調査・研究・開発・発信

Leading project ※自主事業

確実かつ効果的な財源確保につなげるため、基本構想推進委員会小委員会でのご意見も踏まえ、リーディングプロジェクトのあり方を見直すこととし、11月末にプロジェクトを一旦休止しました。

◇学会等での発表、研究会・実行委員会等への参画、ブース出展による情報発信

実施日	事業名	主催
8/25～ 28	日本環境教育学会第33回大会(オンライン及び東京農工大学)「京都市における環境活動の共創についての実践報告」(口頭発表)	日本環境教育学会
7/3	セントラルスクエア西大路花屋町店	セントラルスクエア西大路花屋町店
11/3	kokoka オープンデイ 2022 団体活動紹介コーナー出展	京都市国際交流協会
12/22	ソウルエネルギードリームセンター10周年記念国際セミナー「Co-creation for the sustainable development of "MIYAKO": Working toward Initiatives to expand environmental activities to achieve carbon neutrality」(事例紹介と意見交換)	ソウル市
1/8	第6回関西環境教育合同研究大会シンポジウム「身近な環境教育の現在」での事例紹介とパネルディスカッション	日本環境教育学会関西支部、関西環境教育学会
2/4 2/5	第30回ワン・ワールド・フェスティバル ブース出展	ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会
3/1	かごしま環境未来財団モニタリング委員会	かごしま環境未来財団
11月 2月	島本町環境保全審議会委員	島本町
通年	ボランティアコーディネーション力検定試験委員	日本ボランティアコーディネーター協会

1511 Leading project A 飛び出せエコセン! 「リンカンガッコウ」

「森が教室、自然が先生、里山の人が教科書」をコンセプトに、森での授業科目(森での研修プログラム)を展開し、森での研修や体験を通して、森や地域に新しい価値を創造し、企業や団体のメンタルヘルスやチームビルディングに貢献することを目指しました。

- ① 法然院森のセンターにて、企業研修プログラムを2回試行しました。
- ② 宇多野ユースホステル付近にて、親子向け体験学習プログラムを3回実施しました。
- ③ 花脊周辺にて、フィールド調査を行いました。
- ④ 上記取組について、京都・地域企業未来力会議にて発表しました。

1512 Leading project B みやこKAMADOKIプログラム

J T助成金には不採択となりましたが、Leading project Cと連動し、クラウドファンディングにつなげられるよう、プログラムの見直しに着手しました。

1513 Leading project C 資金調達プロジェクト

賛助会員制度を整備し、寄付や賛助会員の申し込み・受付をオンラインでクレジットカードを使っても行えるようにしました。また、京都市の市民税控除対象となる寄附金認定を受け、これにより個人での寄付・賛助会費に対し、京都府・京都市両方の住民税の控除を受けることができるようになりました。（賛助会員数19名（21口））

賛助会員拡大のためのキャンペーンや、クラウドファンディングについても検討を進めました。

1514 Leading project D 調査研究プロジェクト

協会職員の持つ情報資源の共有を図るとともに、職員による職員向け学習会（計3回）、新川理事長による職員研修「調査研究とは何か」（計3回）を実施しました。

1515 Leading project E デジタル化推進プロジェクト

まずはペーパーレス化にむけ、11月までに職員アンケート、他団体ヒアリングなどを通じて職員の意向把握を行いました。

1521 きょうと環境活動応援事業

(1) ごみ減量×福祉×地域緑化をつなげるプロジェクト※協賛金事業

廃棄消防ホースで作ったプランター30個を下京区内の施設9か所に設置しました。

※京都新聞日刊7月5日掲載、月刊廃棄物2023年8月掲載

(2) SDGs・脱炭素をテーマとした異業種交流会※自主事業

「京都をつなげる30人」（Slow Innovation株式会社主催、京都市協賛のまちづくりプログラム）の取組の一環として、みずほ銀行京都支店と協働し、ラコリーナ近江八幡を会場に、市内事業者13社とたねやグループのSDGs・脱炭素をテーマとした異業種交流会を開催しました。

(3) 環境学習プロダクト共同開発※自主事業

環境、SDGsを楽しく学べる、幼児・小学生向けゲームを、日販テクシード株式会社（日販）と共同開発しました。日販が、ゲーム本体（バブルタッチゲームロボットこくり）を提供し、協会が学習クイズなどコンテンツを提供しています。



1522 休眠預金活用事業 ※自主事業

休眠預金等活用法に基づく資金分配団体の公募に、複数団体による連合体（コンソーシアム）を形成して応募するため、NPO法人近畿環境市民活動相互支援センター（エコネット近畿）等、関西でESDに係る6団体と今後の提案に向けて協議を重ねました。

1523 第7回全国小水力発電大会 in 京都 ※自主事業

令和4年11月10日、11日に京都経済センターにて、「第7回全国小水力発電大会 in 京都」を開催し、小水力発電等に関する事業者の出展や5つの分科会での情報交流などを行いました。

当協会からは、実行委員会委員長に理事長が就任、実行委員に多くの理事等が参画されるとともに、実行委員会の事務局を担いました。

小水力発電を切り口に、世界のカーボンニュートラルをけん引する再生可能エネルギーの利用の在り方について様々な視点から議論を行い、2日間で国内外から約1,200名を超える方に参加いただきました。



II 収益事業

5101 貸館事業



Ⅲ その他事業（相互扶助等事業）

6101 秘密書類リサイクル事業

- (1) 事務費・京都市回収料金計算方法の見直しを行いました。
- (2) 禁忌品混入防止強化

秘密書類受入先の工場にて粘着性異物の混入が原因と思われるトラブルが多発しているため、引き続き利用者に分別徹底を呼びかけました。

Ⅳ 附属明細書

2022 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書を作成しません。

2023年5月

公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会

～一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（抄）～

第 34 条 事業報告

- 3 事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。